

# H29年建築2級(前期) 学科試験 問題

No1 冬季暖房時における外壁の室内側表面の結露を防止するための対策として、最も不適当なものはどれか。

- 1 壁体に熱貫流抵抗の小さい材料を用いる。
- 2 室内の水蒸気の発生を抑制する。
- 3 室内側表面に近い空気を流動させる。
- 4 室内より絶対湿度の低い外気との換気を行う。

答え--- 1

熱貫流抵抗は熱の伝わりにくさの指針で、大きいほど熱が伝わりにくい。

No2 吸音に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1 合板や石こうボードと剛壁の間に空気層があるとき、主に低音域の音を吸音する。
- 2 コンクリート打放し壁などの剛壁は、主に低音域から中音域の音を吸音する。
- 3 有孔板と剛壁の間に空気層があるとき、主に中音域の音を吸音する。
- 4 グラスウールなどの多孔質材料は、主に高音域の音を吸音する。

答え--- 2

コンクリートなどの硬い素材は中音域～高音域の音を遮断するのに効果的である。又、コンクリート自身は音を吸収することは小さく、反射してしまう。

No3 色に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1 実際の距離よりも遠くに見える色を後退色、近くに見える色を進出色という。
- 2 一般に明度、彩度が高いほど派手に感じられる。
- 3 純色とは、各色相の中で最も明度の高い色をいう。
- 4 無彩色とは、色味をもたない明度だけをもつ色をいう。

答え--- 3

純色は各色相のなかで、最も彩度の高い色である。

この過去問は受講者専用のページです。  
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。  
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>